

(株)サニックス 2022年3月期決算説明会概要

日時：2022年5月17日（火） 10:00～11:00

※WEBライブ形式にて実施

※決算説明会動画（<https://sanix.jp/ir/images/202203q4.mp4>）

- ・決算概況
- ・通期業績見通し
- ・代表取締役社長 宗政寛 総括

(以下、決算説明会での質疑応答)

Q：新電力事業において、規模縮小にともない市場リスクはほとんどなくなると考えていいのか教えてほしい。

A：その認識で間違いない。2023年3月期に供給を予定している電力については、既に相対電源を確保しており、市場リスクは最小限に低減されている。当然ながら需要の変動により、電力の過不足を市場調達または市場卸売する場合もあるが、限定的と考えている。

Q：環境資源開発事業において、中長期的にはどのようにして収益拡大していくと考えているのか教えてほしい。

A：処理単価については、直近の年度や四半期で単価が僅かに変動しているが、これは、市場環境の変化によるものではなく、当社工場や地域によって搬入物・処理単価が異なることから変動しているものである。引き続き、処理単価及び燃料としての品質を維持しながら、受入拡大を図っていく。また、今年度より販売を開始した廃棄物管理システムによって、廃プラスチック排出元以外にも廃棄物に関する提案・アドバイスが可能となり顧客基盤の拡大・囲い込みができると考えており、処理単価だけの優位性で他社へ切り替えるといったケースが減ると考えている。

Q：SE事業において、FIT制度改定による全量売電から自家消費型への移行に遅れが生じていると思うが、現状の環境と今後の業績拡大について教えてほしい。

A：FIT制度改定により従来の純粋な太陽光発電設備の提案だけでは難しい環境下であり、従来の土地付太陽光に変わる新たなサービス開発に時間を要し市場環境への対応に遅れが生じていた。しかし、昨年度末にかけて、戸建向けに加え、法人向けのPPAモデル等、第三者との提携によるビジネスモデルがようやく整ったことから、今年度については、積極的に営業展開を進め事業拡大を図っていく。

以上